

【2022年度以前入学者用】

【カリキュラム・ポリシー】—このような方針でカリキュラムを編成しています—

上記のディプロマ・ポリシーに基づき、本学はリベラル・アーツの考え方を基盤とするカリキュラムを採用しています。本学が掲げるリベラル・アーツとは、専門知識の準備段階として誰もが身につけるべき一般的な知識・技能（一般教養）にとどまらず、高度な学術的専門知識を探究しつつ、世界や人間に対する根本的な問いを発し、多様な観点を統合して「生きた教養」とする学びを意味します。本学では学士課程の全体を通して、こうした学びを、各自が主体的に追求することのできるカリキュラムを置いています。

I 科目種別

科目種別としては、以下の四種類を置き、各自の目的と関心に応じた多様な学びを柔軟に追求することができるようになっています。

(1) 全学必修分野 全学生が共通に身につけるべき基礎知識、観点、能力を身につけるもの

キリスト教学、第一外国語、第二外国語、体育運動学

(2) 専攻分野 所属学科・専攻の専門的知識や学術的能力を身につけるもの
所属学科・専攻の専門科目

(3) 関連分野 専攻分野の研究に関連づけて、また各自の関心に応じて自由に履修するもの
総合現代教養科目、基礎課程科目、他学科の専門科目

(4) 卒業論文 4年間の学びの集大成として全員が取り組むもの
これらのうち、自分が所属する学科・専攻以外の授業科目を「関連分野」として数多く履修するよう定めているのが、本学の特徴です。

II 課程編制

入学時には学科専攻を定めず、1年次には全員が基礎課程に所属します。1年次の終わりに進学先を決定し、2年次以後の専攻課程では各学科・専攻に所属して学びます。

基礎課程 基礎課程においては、専門的学問の基礎となる知識・技能の習得と同時に、リベラル・アーツ的な学びを追求するために必要な、統合的なものの見方や学び方の基礎を身につけます。同時に、専門分野に対する理解を深めながら、自らの適性と意欲を見極め、所属学科専攻の決定につなげます。

(1) 全学必修分野

<キリスト教学Ⅰ> 本学の教育の基盤であるキリスト教の世界観・人間観・価値観を、多面的、多角的な視点から学び、世界と人間に対する深い洞察力と心の豊かさを身につけます。キリスト教学Ⅰにおいては、特にキリスト教への基本的な理解を深めます。

<第一外国語・第二外国語> 第一外国語(英語)・第二外国語(フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語・コリア語から選択)では、上質かつ多彩な外国語の授業を通して地球化時代に求められる語学力を身につけるとともに、言語を通じて異文化に対する理解を深め、国際的な視野や関心を広げます。

<体育運動学> 健康の科学や運動文化への理解を深め、適切な運動習慣を身につけ、生涯にわたる健康保持のための基盤をつくります。

(2) 関連分野

<基礎課程演習> 専任教員の指導のもと少人数のゼミ形式で、学術研究の基礎的な方法や観点を学び、また主体的な学習姿勢を身につけます。

<総合現代教養科目> 地球規模で考え、行動し、交流することが求められる現代において、世界の多様な社会と文化を理解し、時代を見通し、課題を発見し、自身の生き方を考えていくための幅広い知識と教養を獲得するものです。基礎課程段階では、幅広い多様な視点にふれ、リベラル・アーツ的な学びの基礎を身につけることを目指します。

<専攻科目> 1年次生向けの入門科目や導入科目を通して、専門分野に対する基礎的な理解を深めるだけでなく、1年次生も受講できる専攻科目を通して、専門分野についてより深い理解を先取りすることもできます。

専攻課程 専攻課程においては、所属学科・専攻の専門的な授業科目を中心に、専門的な学術的能力の習得を目指すと同時に、リベラル・アーツ的な学びに必要な能力や視点をさらに深めます。

(1) 全学必修分野

<キリスト教学Ⅱ> 主として3年次で学ぶキリスト教学Ⅱでは、キリスト教に対する理解をさらに深めると共に、歴史、文化、社会などにおけるキリスト教の多様な展開を学びます。

<第一外国語・第二外国語> 2年次においては、1年次において築いた基礎の上にさらに高い語学力や国際的視野を獲得します。さらに、希望者は3・4年次においてもより高度な語学学習を行うことができます。

(2) 専攻分野

<専攻科目> 各学科・専攻が開設する専攻分野の授業科目を履修し、演習、講義、実習等を通して専門性を深めます。とくにカリキュラムの中心に据えられる演習は少人数のゼミ形式で行われ、

学生が主体となって行う研究や発表を通して、専門領域についての知識や理解を深めるとともに、課題発見能力と課題解決能力を高め、的確な判断力や十分な発信力・説得力を身につけます。演習での議論を通じて、論理的・批判的な思考力が鍛えられ、他者の多様な見解に耳を傾け、学び合う姿勢も育ちます。

（３）関連分野

<他学科・専攻の授業科目> 各学科・専攻が開講する授業科目の多くは、他学科・専攻所属の学生にも開かれており、各自の関心に応じて自由に修得することで、幅広い視野や複眼的な思考力を身につけます。

<総合現代教養科目> 専攻課程段階では、自らが専攻する学問分野を相対化する多様な視点や、現代を生きる社会人として必要な知識や視点を獲得することも期待されています。

*副専攻制度 関連分野履修を体系的に行うことで、主専攻に加えて「もう一つの専攻」を学ぶ制度です。自分の属する学科・専攻で学ぶのとは異なる学問分野や主題のもとで体系的に授業科目を選択履修します。所定の要件を満たした学生には副専攻修了の認定がなされます。

・各学科副専攻 自分が専攻する以外の学科専攻が定める授業科目の中から、各自の関心に応じて選択履修するものです。専攻する以外の学問分野についての一定の知識を獲得すると同時に、複眼的な学問的視野や多様な学術的方法が身につきます。

・総合リベラル・アーツ副専攻 モデルプランを参考に、自分で主題を定め、計画を立てて学部全体の授業科目から選択履修するものです。物事に対する多面的な視点や複眼的な視点をはぐくみ、主体的な課題発見と課題解決能力を身につけます。

（４）卒業論文

４年次には、４年間にわたる学問成果の集大成として、指導教員（メンター）の丁寧な個別的指導のもと、全員が卒業論文を執筆します。各自でテーマを設定し、学問的な研究・調査方法に基づいて探求し、得られた内容を論文としてまとめることによって、思考力、判断力、表現力の大きな伸長が期待されます。

（2017年1月17日更新）

【2023 年度以降入学者用】

【カリキュラム・ポリシー】—このような方針でカリキュラムを編成しています—

I 科目種別

科目種別としては、以下の四種類を置き、各自の目的と関心に応じた多様な学びを柔軟に追求することができるようになっています。

- (1) 全学必修分野 全学生が共通に身につけるべき基礎知識、観点、能力を身につけるもの
キリスト教学、第一外国語、第二外国語、ウェルネス・身体活動、AI・データサイエンス
- (2) 専攻分野 所属学科・専攻の専門的知識や学術的能力を身につけるもの
所属学科・専攻の専門科目
- (3) 関連分野 専攻分野の研究に関連づけて、また各自の関心に依じて自由に履修するもの
総合現代教養科目、基礎課程科目、他学科の専門科目
- (4) 卒業論文 4 年間の学びの集大成として全員が取り組むもの

II 課程編制

入学時には学科専攻を定めず、1 年次には全員が基礎課程に所属します。1 年次の終わりに進学先を決定し、2 年次以後の専攻課程では各学科・専攻に所属して学びます。

基礎課程（1 年次生）

基礎課程においては、専門的学問の基礎となる知識・技能の習得と同時に、リベラル・アーツ的な学びを追求するために必要な、統合的なものの見方や学び方の基礎を身につけます。同時に、専門分野に対する理解を深めながら、自らの適性と意欲を見極め、所属学科専攻の決定につながります。

(1) 全学必修分野

<キリスト教学 I> 本学の教育の基盤であるキリスト教の世界観・人間観・価値観を、多面的、多角的な視点から学び、世界と人間に対する深い洞察力と心の豊かさを身につけます。キリスト教学 I においては、特にキリスト教への基本的な理解を深めます。

<第一外国語・第二外国語> 第一外国語（英語）・第二外国語（フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語・韓国語から選択）では、上質かつ多彩な外国語の授業を通して高い語学力を身につけるとともに、言語を通じて異文化に対する理解を深め、国際的な視野や関心を広げます。

<ウェルネス・身体活動> 身体的、精神的、社会的によりよい健康状態をつくり出すための基本

的な理解と身体活動の実践的理解を深め、生涯にわたる健康の保持増進と豊かな身体活動に取り組むための基礎的な能力を身につけます。

<AI・データサイエンス> Society 5.0時代に必要な「数理・データサイエンス・AI」に関する知識と技術を学び、それを活用する基礎的な能力を獲得します。

(2) 関連分野

<基礎課程演習> 専任教員の指導のもと少人数のゼミ形式で、学術研究の基礎的な方法や観点を学び、また主体的な学習姿勢を身につけます。

<各学科入門科目> 各学科での学びの全体像や学科教員全員の研究分野を知ることができます。

<総合現代教養科目> 地球規模で考え、行動し、交流することが求められる現代において、世界の多様な社会と文化を理解し、時代を見通し、課題を発見し、自身の生き方を考えていくための幅広い知識と教養を獲得するものです。基礎課程段階では、幅広い多様な視点にふれ、リベラル・アーツ的な学びの基礎を身につけることを目指します。

<専攻科目> 各学科が開講する1年次生向け科目を通して、専門分野に対する基礎的な理解を深めるだけでなく、1年次生も受講できる専攻科目を通して、専門分野についてより深い理解を先取りすることもできます。

専攻課程 (2~4年次生)

専攻課程においては、所属学科・専攻の専門的な授業科目を中心に、専門的な学術的能力の習得を目指すと同時に、リベラル・アーツ的な学びに必要な能力や視点をさらに深めます。

(1) 全学必修分野

<キリスト教学Ⅱ> 主として3年次で学ぶキリスト教学Ⅱでは、キリスト教に対する理解をさらに深めると共に、歴史、文化、社会などにおけるキリスト教の多様な展開を学びます。

<第一外国語・第二外国語> 2年次においては、1年次において築いた基礎の上にさらに高い語学力や国際的視野を獲得します。

(2) 専攻分野

<専攻科目> 各学科・専攻が開講する専攻分野の授業科目を履修し、演習、講義、実習等を通して専門性を深めます。とくにカリキュラムの中心に据えられる演習は少人数のゼミ形式で行われ、学生が主体となって行う研究や発表を通して、専門領域についての知識や理解を深めるとともに、課題発見能力と課題解決能力を高め、的確な判断力や十分な発信力・説得力を身につけます。演習での議論を通じて、論理的・批判的な思考力が鍛えられ、他者の多様な見解に耳を傾け、学び合う姿勢も育ちます。

(3) 関連分野

<他学科・専攻の授業科目> 各学科・専攻が開講する授業科目の多くは、他学科・専攻所属の学生にも開かれており、各自の関心に応じて自由に修得することで、幅広い視野や複眼的な思考力を身につけます。

<総合現代教養科目> 専攻課程段階では、自らが専攻する学問分野を相対化する多様な視点や、現代を生きる社会人として必要な知識や視点を獲得することも期待されています。

* 副専攻制度 関連分野履修を体系的に行うことで、主専攻に加えて「もう一つの専攻」を学ぶ制度です。自分の属する学科・専攻で学ぶのとは異なる学問分野や主題のもとで体系的に授業科目を選択履修します。所定の要件を満たした学生には副専攻修了の認定がなされます。

・ 各学科副専攻 自分が専攻する以外の学科専攻が定める授業科目の中から、各自の関心に応じて選択履修するものです。専攻する以外の学問分野についての一定の知識を獲得すると同時に、複眼的な学問的視野や多様な学術的方法が身につきます。

・ グローバル共生副専攻 指定科目の中から、定められた履修要件を満たすように選択履修するものです。人と人が共生する持続可能な社会を目指したグローバル共生を実践するために必要な資質・能力が身につきます。

(4) 卒業論文

4年次には、4年間にわたる学問成果の集大成として、指導教員（メンター）の丁寧な個別的指導のもと、全員が卒業論文を執筆します。各自でテーマを設定し、学問的な研究・調査方法に基づいて探求し、得られた内容を論文としてまとめることによって、思考力、判断力、表現力の大きな伸長が期待されます。

(2023年1月17日更新)